

# 沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナを守ろう

内閣総理大臣 安倍 晋三殿

2016年9月国際自然保護連合(IUCN)第6回世界自然保護会議は「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理強化」を求める決議を採択しました。沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全を求める2000年、2004年、2008年IUCN 勧告・決議につづく4度目の決議です。2016年IUCN 世界会議には沖縄県副知事と名護市長が参加するなど、IUCN に期待する沖縄県民の声が高まっています。16年9月に名護市議会が日本政府とIUCN 本部に勧告と決議の履行を求める意見書を採択しました。

辺野古・大浦湾沿岸は生物多様性に富み、ジュゴンの餌場となる海草藻場が広く分布し、海洋保護区の設置を求める声広がっています。16年9月にはノグチゲラ、ヤンバルクイナが生息する「やんばるの森」が国立公園に指定され、18年夏に世界自然遺産登録をめざしています。「やんばるの森」の現地調査をユネスコからIUCNが委託されて、17年夏にも来日します。沖縄県は可能な限り情報提供などIUCNに協力することを明らかにしています。そこで、以下のことを要請します。

(要請項目)

1. 絶滅危惧種である沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全計画を策定すること。
2. 辺野古新基地建設を中止すること。高江ヘリパッドへの米軍輸送機オスプレイ配備を中止すること。
3. 沖縄への外来種の侵入経路の管理を強化すること。

取扱い団体( )

お名前	住所
	都道 府県

呼びかけ団体:ジュゴン保護キャンペーンセンター(SDCC)、ジュゴン保護基金委員会

賛同団体:沖縄環境ネットワーク、海の生き物を守る会

署名集約先:ジュゴン保護キャンペーンセンター

署名の集約予定 2017年11月15日

〒534-0025 大阪府大阪市都島区片町2丁目9番21号 野口ビル302号  
(署名を他の目的には使用しません)

